



きらきら中野

2011年4月号

家庭倫理の会は「よくする活動」を推進しています
家庭を、地域を、日本を、地球をよくする 活動を推進しています



家庭倫理の会

平成 23 年度家庭倫理講演会中止について

推進長 清水 新司

4月3日に予定していた「家庭倫理講演会」が開催中止になりました。

東日本大震災が発生して、今は一刻も早い救援が急務であり、そして落ち着いた行動することが大切な事です。

被災された多くの方々の声を聞き、見て、読んで、余りに大きな被害に言葉ありません。心よりお見舞い申し上げますとともに、早い復興を祈っています。

今も原発の危機、計画停電と災害は進行中ですが、今回の大地震では気持ちの備え、備品の用意などが大切な事と心に刻みました。家族でどう行動するか話しておくことも必要な事です。

中野区に住んでいる私たちはほとんど被害がありません。今からしっかり支援をしていきましょう。義援金に協力する、節電をする、家族を大切に、仕事に励むなど進んで実行していきたいものです。

今回の講演会は「今日本が壊れかけている」この危機感を抱いて{じっと見つめる}のテーマで開催する予定でした。絆の回復と創造こそ、日本を蘇らせる課題と丸山理事長は結んでいます。私たちも素直に取り組んでいきたいと思えます。

まさかと思うことが...

池田 八重子副参事

あなたは今自分がどこにいるのか何でここにいるのか全くわからない無色透明の空間を経験したことがありますか？

2月24日から2泊3日で美しく咲き揃った河津桜を見物し、26日の朝、朝食前に、したことの無い朝風呂に入った後のことでした。大勢いた団体客が一斉にいなくなり「ああ 静かになったなー」と思ったまでは覚えているのですが、その後は全くなにもわからない、いわゆる意識不明に陥ってしまいました。

20分か30分後救急車に乗せられ、がたんと響くショックで薄っすらと醒めたものの、その状況を理解するには少し時間が必要でした。「よかった、よかった」主人や周りの人たちの声に我に返った私をやわらかく、温かい心が包んでくれました。

そういえば、最近血圧が高めだったことや左手の先が妙に冷たかったことが思い出され、ひょっとして命の瀬戸際に立ったのかと震撼とする思いでした。

そんな矢先、原因究明のため病院から帰った直後東北関東大地震が起こり、画面に映るあの惨状、目を追ってますます広がる被災地。身一つで命からがら逃げた人たちの神々しいまでの感謝と思いやりの心に打たれ、何かしたくても何もできない今の自分にもどかしさを感じました。

一日も一分も早く救援が行き届き復興の光が兆しますように。それとともに私自身も人様のお役に立つ健康な体に戻りますようこの体験を生かして「おかげさま」の感謝の心を育ててまいります。

今、私たちにできること

節電、義援金、いつもどおりの生活をするなど... (ex.必要以上の買い物や、自粛をしない)
家庭倫理中野区では、義援金を受け付けております。私たちの想いを会で取りまとめ、日本赤十字社を通して被災地へお届けします。ご協力をよろしく願います。

被災地に想いを馳せて

岡野 八重子

東北関東大震災の被災者の皆さんに対して何を申し上げていいのか言葉が見つかりません。

一日も早く自宅に帰ることが出来ることを願っています。

私も福島出身ですが幸いに仲通の郡山の市街地に実家があり屋根の瓦が落ちた程度で済んだそうです。また 原発地より離れているので被曝することなく安堵しました。原子力発電所は私の子ども時代にはありませんでしたから毎日のようにテレビで写しだされると不安がつります。

非難を強いられた方も不自由な思いで過ごしていると思うと食事も贅沢に出来ないと夫と冷蔵庫にあるもので済ませるようにしています。

被災された方の気持ちを考えると何も出来ない自分が申し訳なく思います。ただ気持ちだけは一緒にといい今までの生活を改め節約、節電で過ごしていきたいと思います。

亡くなられた方のご冥福を祈り笑顔になれる日が一日も早く来ることを願っています。

また、今年度の家庭倫理の会講演会が中止されたことは残念に思いますが来年度への目標高く倫理の普及に取り組みたいと思います。

大地震 そして私は

原 千美

先日、白内障の手術を受けました。家を出る時には、神様、仏様、両家のご先祖様、亡き主人によくお願いしていきました。手術は順調で、メガネをかけないで、本が読めるようになり、同室の方々とも仲良くなって喜びで一杯でした。術後1週間の検診の帰りに知人宅の前の道路で地震に合いました。あわてましたが知人と一緒だったので心強かったです。途中、屋根瓦が落ちてきたりしてやっとの思いで家に帰ってきました。家に着いてから、これが入院中、手術中であつたらと思っただけでゾッとしました。

子どもたちや、親戚から「電話が通じなくて心配した。無事で良かった」という声を聞いてホッとしました。会友に地震に合った状況を話したら「原さんは守られているのよ。毎朝通っているからよ。本当によかったね」と言われ、私も、改めて、一貫して続けること、親、祖先につながる大切さを実感しました。これからも亡き主人と二人で通わせてもらいます。

苦いこと、大変なことも...

熊谷 紀子

誰でも忙しい生活を送っていると、歌を詠むという余裕がなくなる。歌を詠む余裕とは、そのまま心の余裕である。心の余裕を失えば、潤っていた心も知らず知らずに干乾びてくる。歌を詠むことで、心が生き生きとするのです。心は歌によって生かされているのである。そのことを体験実証するためには、まず、立ち止まって見る。(聴く)ことです。(しきなみ短歌誌4月号より)

苦しいこと、大変なこと、うれしいことがすべて歌になります。もうすぐ桜も咲くし、温かい風を感じて来ます。被災地ではまだ春は遠いでしょうが、私たちにできることは何か？小さなことでも、励んで参ります。

4月 インフォメーション

- 4月 4日(月) 13:30~しきなみ短歌 商工会館
- 10日(日) 5:00~合同実践報告会
- 17日(日) 5:00~合同実践報告会
- 20日(木) 19:00~青年学習会 中村 学 学研員(青年担当) 天神会館
- 21日(金) 5:00~おはよう倫理塾 天神会館
- 27日(水) 5:00~合同実践報告会



中野区では久しぶりの開催です。対象は中学生から30歳未満、未婚者です。友人、知人、お子さん、お孫さんを是非、お誘いください！

5月15日(日)~16日(月) 富士研受講 申し込み受付中！

ホームページも是非ご覧下さい <http://nakano-rinri.jp>